

請 願 文 書 表

受理年月日 及び番号	令和4年8月31日 第28号
件名	小・中学校全学年において早急に少人数学級の実現を求める請願
請願者	文京区本駒込五丁目15番12号 新日本婦人の会文京支部 支部長 小竹 紘子
紹介議員	小林 れい子
請願の要旨	次頁のとおり
付託委員会	文教委員会

請願理由

新型コロナウイルスは、オミクロン株 B A. 2 の系統から、さらに感染力の強い B A. 5 系統等の変異株へ置き換わりの影響もあり、経験のない感染拡大となっています。発熱外来がパンク状態になり、自主的な抗原検査で陽性となっても受診できない事態が多発しています。

文京区立小中学校・幼稚園における新型コロナウイルス感染症罹患患者の発生状況は6月と8月を比べると休み中の8月に児童が 5.8 倍、生徒が 3 倍、幼児が 15 倍となっています。9月新学期が心配されます。

国は昨年度、小学校2年生以下の 35 人学級を実施し、1年毎にその年齢を引き上げていくことにしています。国の計画では現4年生以降は、中学1年の時を除き中学卒業まで一クラス40人で学ぶこととなります。

コロナ禍では感染予防・拡大防止のために、マスクの着用と「密」にならないことを呼びかけていますが、児童・生徒は、一クラス40人と学校で日常的に「密」の状態に置かれています。

萩生田文部科学大臣（当時）が「中学校を含めて、最終的には30人以下が理想だ」と答えています。

全国の自治体では、国の35人学級への変更を受けて、自治体独自に前倒しで促進したり、更なる少人数への取り組みを進めるなど少人数学級を前に進めています。これは全国的な流れになっています。

少人数学級はコロナ禍での「密」を解消し、子ども達がゆったりと学び、一人一人の個性を生かし学ぶ権利を保障する上でも重要です。

東京都においても独自に教員を増やして、35人学級を小学校で前倒し、中学校で拡大していただきたく強く要請します。

請願事項

- 1 都の責任で、小・中学校の全学年で35人学級を早期に実施するよう求めること。
- 2 あわせて小・中・高の全学年で30人学級の検討に入ることを都に求めること。